



医療安全(BLS)研修

職員向けの BLS 研修(心停止の早期判断、適切な胸骨圧迫方法・AED使用方法等)を毎年開催しています。BLS(Basic Life Support)とは、「呼吸が止まり、心臓も動いていないと見られる人の救命へのチャンスを維持するため、特殊な器具や医薬品を用いずに行う救命処置」のことです。(引用：wikipedia)

今年度も、医師、看護師だけでなく、多職種の職員が参加しました。(教育研修係長 角 雅美)



まずは動画で緊急時対応の様子をチェック

いざ実演



定期的研修を行い、緊急時に迅速に対応できるよう訓練していきます



医療的ケア児・者コーディネータ養成研修

今年度も三重県内の相談支援専門員、保健師、訪問看護師等を対象に、7/21・7/22・8/19・9/1・9/2の5日間で、医療的ケア児・者コーディネータ養成研修を行い、36名の修了者を養成することができました。

本研修は三重県より三重病院が受託し、毎年行っているもので、人工呼吸器を装着している障がい児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障がい児や重症心身障がい児者等(以下「医療的ケア児等」という)が、地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養



成することを目的として実施しています。

講義を3日間、演習を2日間行い、医療的ケアを必要とする障がい児・者の福祉、多職種連携等の基礎知識の習得だけでなく、本研修を通じて顔のみえる関係作りができたと感じております。

当院は、三重県内の5市(津・鈴鹿・亀山・伊賀・名張)や三重大学医学部付属病院とともに、医療的ケア児等のくらしを考え、交流や情報交換の場としての「にじいろネット」、医療的ケア児支援センターにじいろ支部など、医療的ケア児等の地域支援の底上げを行っており、今後も人材育成に取り組んで参ります。

(教育研修係長 角 雅美)

